

# クラゲマイスターの活動紹介

日本一のクラゲ水族館と共に、クラゲの魅力・海の生物の魅力を市民に伝えたい！

## 「科学の花咲く」プロジェクトとは？

独立行政法人科学技術振興機構（JST）地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」のプロジェクト（～H24.3.31.）

現在は、見や大学、またクラウドファンディングによるご支援の下、活動を継続している。

事業内容・・・

科学コミュニケーターの養成・地域、家庭でできる科学体験ツールの開発・

新たな科学コミュニケーション機会の創出（イベントや人が多く集まる場所での科学教室）

## クラゲマイスターとは？

山形大学 SCITA センターが年1回、養成講座を実施し認定。

鶴岡市立加茂水族館の協力の元、クラゲの生態、種類、特徴などクラゲの知識と、それを科学イベントやボランティアガイドを通じて、市民にクラゲの魅力を発信する。（初級、上級 118 名）

・夏だ！科学体験教室（イオンモール三川）のべ750名  
・環境フェアつるおか 2016：のべ350名  
・科学まつり in 鶴岡（鶴岡マリカ西館）のべ300名

・まるで！尾花沢ふれあいまつり：のべ580名

・ナイトミュージアム（県立博物館）のべ778名  
・青年のための科学の祭典 in 山形：のべ870名  
・山形馬まつり：のべ800名  
・日本一の芋煮会フェスティバル：のべ1000名

・学都「仙台・宮城」サイエンスデイ（東北大学川内北キャンパス）のべ100名



## クラゲマイスターの活動（1）科学イベント開催

県内外各地のイベントに出向いて出展。

加茂水族館より提供頂く、クラゲ生体を小さな水族館のように展示、解説。

## クラゲマイスターの活動（2）復興支援イベントへの出展

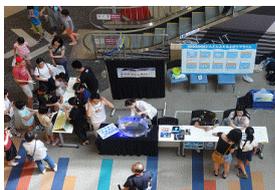
・『科学で東北を盛り上げ隊！』震災後から始まり、本年8月で12回を数えた。

会場：石巻市こもれびの丘遊楽館

参加団体：山形大学、山形県立博物館、東北大学、東京大学 GAST、NPO ガリレオ工房他

（7団体13ブース、クラゲブース体験者数およそ2000人）

・福島県いわき市豊間復興祈願祭（2012.9.30 豊間小学校体育館、現在は津波の影響もあり解体）



ショッピングセンターでのイベント



ボトルに季節のクラゲが泳ぐ



生きたクラゲに触るコーナー。

初めての感触にドキドキ！



手のひらサイズの小瓶にクラゲの幼生。

手で持って、虫眼鏡で、みんな夢中



クラゲの水槽の後ろに入って、クラゲとツーショット！



加茂水族館監修の、クラゲのふえ方紙芝居をパネルにして展示



野外のイベントでも、マイスター自らクラゲを手に来場者の元へ



いわき豊間復興祈願祭にて。復興の祈りを、クラゲの千羽鶴にこめる

活動の詳細・・・やまがた「科学の花咲くプロジェクト」<http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/chiki/index.html>

問い合わせ先・・・やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目 4-12 山形大学 SCITA センター

電話・ファクス 023-628-4517

E-mail kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp